

# みんなで創ろう コウノトリの里

今回のテーマは、

～コウノトリってどんな生きもの？～ **です!**

Vol.2

このコーナーでは、本市に縁の深いコウノトリや豊かな自然環境とその保全に向けた取り組みなどを取り上げ、本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」についてご紹介します。

問い合わせ／コウノトリの里づくり推進プロジェクト (☎501-6809)

## コウノトリは水辺生態系の頂点に立つ生きものです

コウノトリは大型の水鳥で、まっすぐに長くのびた太く黒いくちばしが特徴です。

かつては日本各地に生息していたといわれていますが、明治以後の乱獲や大戦後のほ場整備・河川改修による湿地の消滅、そして農薬の使用等による餌生物の減少などにより、昭和46年の兵庫県豊岡市を最後に、野生のコウノトリは絶滅してしまいました。飼育下の個体の保護・繁殖、そして放鳥の取り組みがなされ、現在では80羽を超えるコウノトリが野外に生息するところまで回復しました。

コウノトリは水辺生態系の頂点に立つ生きもので、飼育下では1日に約500gもの餌を食べます。コウノトリが野生下で生息するためには、餌となる生きものを含め、たくさんの生きものを育む豊かな自然環境が不可欠です。そのため、コウノトリがずっと留まっていることは、その地域の自然がとても豊かであることの証であり、私たち人間にとっても住み良い環境であることを示しています。

分類	コウノトリ目 コウノトリ科 コウノトリ属
学名	<i>Ciconia boyciana</i> (キコニア・ボイキアナ)
全長	約120cm～130cm
翼開長	約200cm～250cm
くちばし長	約21cm～26cm
体重	約4kg～5kg (一般にオスはメスより大きい)
食べ物	魚、カエル、昆虫、ヘビなど (完全肉食)
保護の位置づけ	IUCN (国際自然保護連盟) レッドリスト／絶滅危惧 I B類 (EN) 環境省レッドリスト／絶滅危惧 I A類 (CR) 文化財保護法／特別天然記念物 種の保存法／国内希少野生動植物種



コウノトリを頂点とする水辺生態系ピラミッドイメージ図

## コウノトリのはく製を展示しています



本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」の一環として、埼玉県こども動物自然公園 (東松山市) にご協力いただき、コウノトリのはく製を市役所新館1階総合案内横に展示しています。市役所の開庁時間であれば、どなたでもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

市役所開庁時間／平日＝8時30分～17時15分、土曜日＝8時30分～12時

### ひなちゃんの豆知識



コウノトリの鳴き声を聞いたことあるかな？ヒナの時は「ピーピー」って鳴くんだけど、成鳥になると鳴くことができなくなっちゃうんだ。そのかわり、上下のくちばしを叩いた「カタカタカタ…」って音で仲間とコミュニケーションをとっているよ。これを「クラッターリング」っていうんだ。

参考資料／埼玉県環境防災部みどり自然課／編『埼玉県レッドデータブック 2008 動物編』(2008.3)、兵庫県豊岡市『コウノトリ野生復帰のあしあと』(2014.3)